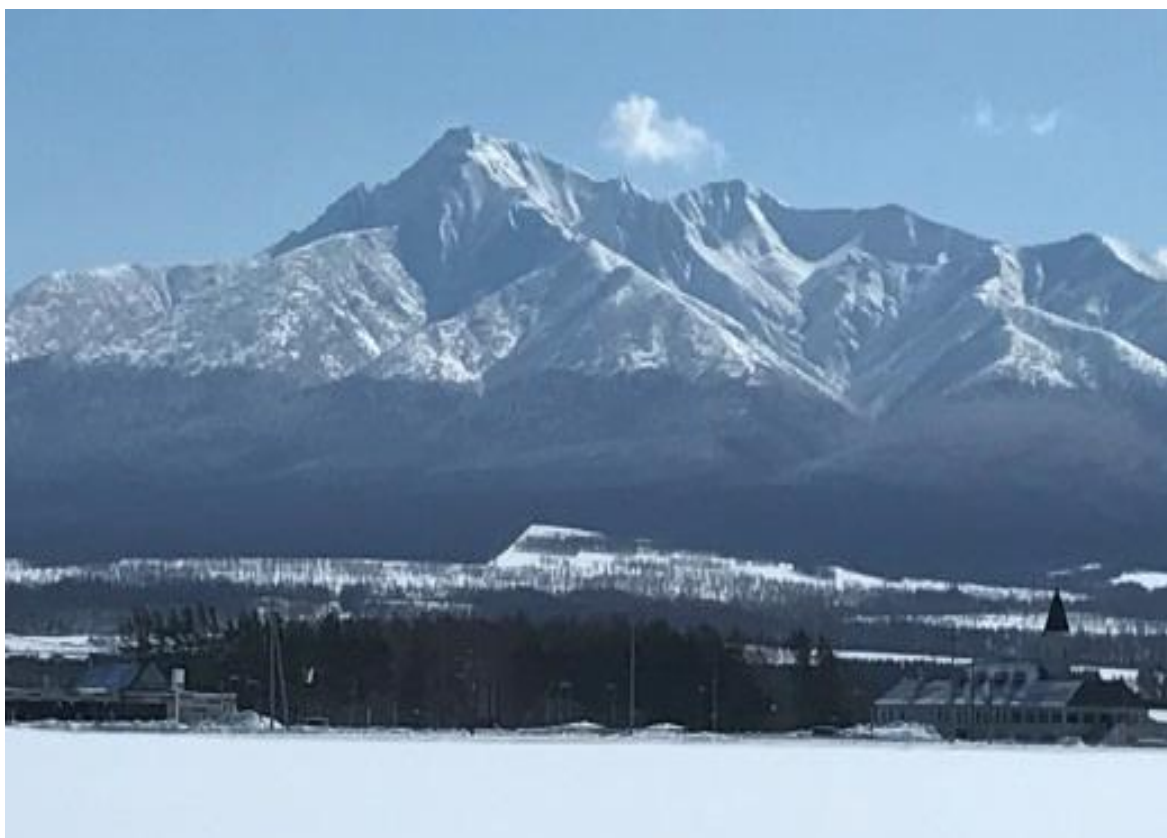


**清里町**

# **家庭学習の手引き**



**清里町学校教育振興会  
清里町教育委員会**

はじめに

義務教育での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。

子どもたちが学ぶことの意味や楽しさに気付き、生涯にわたって意欲をもち学び続けること。これは学校と保護者の共通の願いです。

「学ぶ力」を育てるためには「学習の習慣を身につけさせる」こと、特に小学校では「机に向かう習慣を身につけさせる」ことが後々の学習に大きな影響を与えます。そして、その習慣は学校での指導はもちろんですが、ご家庭での指導助言や協力が不可欠なものとなります。

この手引きが、清里の子どもたちが机に向かって学習する習慣を身につける一助になればと考えています。学校・家庭が一体となって子どもたちの成長を見守りましょう。

## ◇毎日の家庭学習を通し、 より確かな力をつけるために◇



### ◇家庭学習のねらい

- ① 子どもに、家庭での学習習慣を身につけさせることです。
- ② 子どもに、自発的な学習意欲を持たせることです。
- ③ 子どもに、基礎学力を身につけさせることです。

中でも特に大切なことは、「学習習慣を身につけさせる」ことです。小学校のうちに机に向かう習慣を身につけることが、中学・高校へ行っても大きく役立ちます。

### ◇家庭学習の取り組ませ方

- ① まず「宿題」があれば、最初に宿題から取り組ませて下さい。
- ② 宿題がしっかり終わりましたら、「家庭学習の手引き」の中から選んで取り組ませて下さい。

※高学年・中学生は自分で取組内容を考えさせることも大切です。

### ◇家庭学習の習慣や方法

#### (1)家庭学習の習慣

- ① 継続的に学習することを目指す。(できれば時間を決めて)
- ② テレビを見ながら学習しない。
- ③ 机の上をきれいに整頓して、姿勢を正して学習する。

#### (2)家庭学習のめやす(小学生)

学年×10分以上がめやすです。

## 低学年（1．2年）の家庭学習



【保護者の皆様へ】

### 1. 低学年のめあて

「自分の力で学習に取り組めるようにしましょう」

### 2. ご家庭では

- 学習するときは、できるだけ近くで見てあげましょう。
- 静かな環境の中で取り組ませましょう。
- 少しずつ自分で時間割や学習用具を揃えられるように話しましょう。
- ときどき音読（教科書を声に出して読むこと）を聞いてあげましょう。

### 3. 家庭学習時間のめやす

1年	宿題	自主学習	合計	2年	宿題	自主学習	合計
	5分	5分	10分以上		10分	10分	20分以上

【児童用】

#### ① かくにん

- かばんの中なか ⇒ 学校がっこうからのお手てがみを、お家うちの人ひとにわたしましたか。
- つくえの上うえ ⇒ きれいにかたづいていますか。
- テレビやゲーム ⇒ けしましたか。

#### ② さいしょしゅくだいに宿題しゅくだいから はじめます

- 宿題しゅくだいがあるときは、まず宿題しゅくだいをさいしょにおわらせます。

#### ③ 「家庭学習かていがくしゅう」にとりくもう

- 「よむ」…「、」「。」、よむはやさこえに気こころをつけ、声こゑをだして国語こくごの教科書きょうかしょをすらすらよめるように練習れんしゅうしましょう。
- 「かく」…かん字じを正ただしくかけるよう、ノートれんしゅうに練習れんしゅうしましょう。
- 「けいさん」…さんすうきょうかしょの教科書きょうかしょのmondaiもんだい、ドリルたのmondaiもんだいを正ただしくできるように練習れんしゅうしましょう。

#### ④ もっとがんばりたい人は

- 日記にっきをかく。 ○ 読書どくしょをする。 ○ お家うちにある「ワーク」「mondaiもんだいしゅう」をする。 ○ つぎの日あしたにならう学習内容じかんわりに目めを通とおす。(よしゅう)

#### ⑤ おわったら

- わすれものがないように、明日あしたの時間割じかんわりをそろえます。

## 中学年（3. 4年）の家庭学習



【保護者の皆様へ】

### 1. 中学年のめあて

自分から「自主学習」ができる習慣をつけましょう。

### 2. ご家庭では

○低学年からの取組が継続できるよう、声かけをしましょう。

○自分から進んで学習に取り組む習慣をつけさせましょう。

○地域の文化や産業、生き物の観察などにも興味をもたせるようにしましょう。

○ときどき音読を聞いてあげましょう。

### 3. 家庭学習時間のめやす

3	宿題	自主学習	合計	4	宿題	自主学習	合計
年	15分	15分	30分以上	年	20分	20分	40分以上

【児童用】

#### ① かくにん

- かばんの中 ⇒ 学校からのお手がみを、お家の人にわたしましたか。
- つくえの上 ⇒ きれいにかたづいていますか。
- テレビやゲーム ⇒ けして、かたづけましたか。

#### ② さいしょに宿題から 始めよう

- 宿題があるときは、まず宿題をさいしょに終わらせます。

#### ③ 「家庭学習」に取り組もう

- 「読む」…「、」「。」、読むはやさしに気をつけ、声をだしながら教科書をすらすら読めるように練習しましょう。  
わからない言葉を国語じてんなどでしらべましょう。
- 「書く」…字の形、書き順、送りがなに気をつけて、漢字を正しく練習しましょう。  
教科書の文を正しく、ノートにいていねいに写してみましょう。
- 「計算」…算数（計算）ドリルや教科書の問題を正しくできるようにしましょう。

#### ④ もっとがんばりたい人は「発展学習」に取り組もう

- 日記を書く。 ○ 読書をする。 ○ 家にある「ワーク」「問題集」をする。
- 学習した漢字や言葉を使った短文づくり。 ○ 次の日にならう学習に目を通す。
- 理科や社会などで学習したことについて、もう一度ノートにまとめる。

#### ⑤ 終わったら

- わすれものがないように、明日の時間割をそろえます。

## 高学年（5. 6年）の家庭学習

【保護者の皆様へ】

### 1. 高学年のめあて

計画を立て「自主学習」を進めましょう。

### 2. ご家庭では

- 低・中学年からの取組を継続させましょう。
- 家族の言葉かけで意欲や興味・関心を高めましょう。
- 生活リズムを整え、計画的に学習できるように配慮しましょう。
- 「やればできる」という気持ちと「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を味わえるようにしましょう。

### 3. 家庭学習時間のめやす

5年	宿題	自主学習	合計	6年	宿題	自主学習	合計
	25分	25分	50分以上		30分	30分	60分以上



【児童用】

#### ① 確認

- かばんの中 ⇒ 学校からの連絡プリントなどを、家の人にわたしましたか。
- 机の上 ⇒ きれいに整理整頓されていますか。
- テレビやゲーム ⇒ 消して、片付けましたか。

#### ② 最初に宿題から始めよう

- 宿題があるときは、まず宿題を最初に終わらせます。

#### ③ 「家庭学習」で力を伸ばそう

- 「読む」…「、」「。」、読む速さに気をつけ、声をだしながら教科書をすらすら読めるように練習しましょう。（情景や気持ちなどに気をつけて）詩や短文、俳句や短歌の暗唱をしましょう。わからない言葉を国語辞典などで調べましょう。
- 「書く」…字の形、書き順、送りがなに気をつけて、漢字を正しく練習しましょう。教科書の文を正しく、ノートに丁寧に写してみましょう。
- 「計算」…算数（計算）ドリルや教科書の問題を正しくできるようにしましょう。

#### ④ もっとがんばりたい人は「発展学習」に取り組もう

- 日記を書く。 ○読書をする。 ○家にある「ワーク」「問題集」をする。
- 学習した漢字や言葉を使った短文づくり。 ○次の日にならう学習に目を通す。
- 理科や社会などで学習したことについて、もう一度ノートにまとめる。
- 都道府県を白地図にまとめる。 ○学習した歴史人物についてまとめる。

#### ⑤ 終わったら

- 忘れ物がないように、明日の時間割をそろえます。

## 教科別家庭学習のアドバイス（小学校 全学年分）

<p style="text-align: center;">国 語</p>	<p>(1) 教科書の文をノートに視写する。</p> <p>(2) 教科書の今学習しているところを、読み方を工夫して何回か読んでみる。</p> <p>(3) 新出漢字を何回も声に出して読み方を覚える。</p> <p>(4) 漢字の画数を声に出し、正しい筆順でノートに書いて覚える。</p> <p>(5) 漢字ドリルを使ってノートに練習する。</p> <p>(6) ローマ字の練習をする。</p> <p>(7) 新出漢字の音読み・訓読み、熟語、意味を漢字辞典などで調べる。</p> <p>(8) 物語などの読み取りをするとき</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 題を見て、どんなお話か予想する。</li> <li>② 一通り読んで、読めない漢字や難しい言葉の意味を調べる。</li> <li>③ 心を強く打たれたところや、感心したところを考える。</li> <li>④ 登場人物の人柄や考え方はどうかを考える。</li> <li>⑤ 意味段落に分け、段落ごとに大切なことは何かを考える。</li> <li>⑥ 作者が一番言いたかったことは何かを考え、まとめる。</li> </ol> <p>(9) 新出漢字のへん・かんむりなど部首を調べ、そのへんやかんむりを使った他の漢字を漢字辞典などで調べる。</p> <p>(10) わからない語句や言葉の意味を国語辞典などで調べる。</p> <p>(11) 意味調べをした言葉を使って短文づくりをする。</p> <p>(12) 反対語やその意味を調べる。</p> <p>(13) 同じ読み方をする漢字を集めて、熟語づくりをする。</p> <p>(14) 日記や詩、作文、川柳、俳句などを書く。</p> <p>(15) 読書をして、感想文を書く。</p> <p>(16) テーマを決めて説明文を書く。</p> <p>(17) ことわざと意味を調べる。</p> <p style="text-align: right;">など</p>
<p style="text-align: center;">算 数</p>	<p>(1) 時間割を見て次の日に学習するところを読んだりまとめたりする。(予習)</p> <p>(2) その日に勉強したところを、もう一度考えたり、家庭学習ノートに分かったことを書いたり、同じ問題をやってみる。(復習)</p> <p>(3) 同じような問題を自分で作ったり、友だちと問題を交換したりする。</p> <p>(4) 家にあるドリルや問題集で、現在学校でやっている内容と同じ問題を解く。問題をコピーしておいて、何回も繰り返し解いてみる。</p> <p>(5) 終わっているテストやドリルの問題だけをノートに写し、解いた後、自分で答え合わせをする。</p> <p>(6) 終わっている教科書の問題をもう一度解く。</p> <p>(7) 定規や分度器、コンパスなどを使って、学校で学習した図形をかく。</p> <p>(8) 習った単位を何回も書いて覚える。</p> <p style="text-align: right;">など</p>

社 会	<p>(1) 時間割を見て次の日に学習するところを読んだりまとめたりする。(予習)</p> <p>(2) その日に勉強したところを、もう一度考えたり、家庭学習ノートに分かったことを書いて覚えたりする。(復習)</p> <p>(3) グラフや表をノートに写し、それから分かることをまとめる。</p> <p>(4) 勉強して出てきた疑問や調べたいことを学習事典や地図帳、インターネットで調べてまとめる。</p> <p>(5) いろいろな地図の記号を書いて覚える。</p> <p>(6) 白地図を活用した学習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米づくり、野菜づくり、畜産、漁業、工業等について調べ、記入する。</li> <li>・都道府県名と中心都市、地形(山、川、山脈、山地、平野、湖、海など)</li> </ul> <p>(7) 歴史における年号やその時代の特徴をまとめて書いて覚えたり、歴史上の人物を調べてまとめる。(歴史新聞など)</p> <p>(8) 身近な外国の名前や位置、首都、産業などを調べる。</p> <p style="text-align: right;">など</p>
理 科	<p>(1) 動植物の飼育や観察から分かったことをまとめる。</p> <p>(2) 動植物について図鑑などで調べてまとめる。</p> <p>(3) 様々な自然体験から気付いたことをまとめたり、疑問に思ったことを図鑑や参考書などで調べてまとめたりする。</p> <p>(4) 学校で行った実験で、家でできることをもう一度やってみて、結果についてまとめる。</p> <p>(5) 実験器具の絵や図を書いて、名前を覚える。</p> <p>(6) 教科書をもう一度読んだり、まとめたりして大切なことを覚える。</p> <p>(7) 天気、太陽、月、星座などについて調べてまとめる。</p> <p>(8) 終わったテストの問題をノートに写して、もう一度解いてみる。</p> <p style="text-align: right;">など</p>
そ の 他	<p>【音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で学習した歌を、歌詞や階名で大きな声で歌う練習をする。</li> <li>・音符や記号を読み、書いて覚える。楽譜を写す。</li> <li>・けんぱんハーモニカやリコーダーで学習した曲を練習する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>【図工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるものを鉛筆でスケッチをする。</li> <li>・身近にあるものや風景、好きなキャラクターの絵を描く。</li> <li>・本を読んで、心に残った場面の絵を創造して描く。</li> <li>・生活の中で必要なポスターを描く。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>【体育・保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で丈夫な体を保つために生活習慣を見直したり、運動や外遊びなど積極的に体を動かす。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>【外国語】(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット(大文字、小文字)を書いて覚える。</li> <li>・習った単語について、意味やつづりを確認する。(復習)</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

# 中学生（1～3年）の家庭学習

【保護者の皆様へ】

## 1. 中学生の家庭学習の目的

### 【学力と理解の向上】

学習内容を理解するスピードは人によって違います。授業1回の説明で全てを理解することは難しいことです。わずかな時間でも『見直す』機会を持つことで今までよりグンとわかることが増えて、学ぶことの楽しさを見つげられます。

### 【自分で生き方を選ぶ力が身につく】

「自分をコントロールして時間を工夫して使うこと」「課題を見つけて自分で解決すること」は生活の中でも大きく役立ちます。このような「自分で生き方を選ぶ力」は毎日少しずつ努力する中で身につけてきます。自分で選べる生き方はとても貴重なものです。

### 【将来の進路選択を広げる】

1日単位のわずかな積み上げは、1カ月・1年という長い期間で考えると大きな積み重ねとなります。その学習の蓄えは進路選択の幅を増やし、自分の希望を叶える力となります。コツコツの努力は進路決定に向けて、大きな効果をもたらします。

1年生…小学生からの家庭学習を土台に、宿題・課題＋家庭学習の習慣を定着させる。  
2年生…自分に合った、より効果的な学習方法を身につけ、学力を向上させる。  
3年生…学習内容・学習量ともに充実させ、確かな学力を身につける。

## 2. ご家庭では

- 小学校からの取組を継続させましょう。
- 学習する場所の整理整頓、環境整備、家庭のルールを確認しましょう。
- 「ほめる」「励ます」「寄り添う」そして「他人と比べない」ことで自己肯定感を高めさせましょう。
- 新聞、ニュース、読書などたくさんの活字に触れさせましょう。

## 3. 学習環境を整えよう

### 【生活リズムの1つに組み込む】

毎日当たり前に行う、ご飯を食べる、歯を磨く、お風呂に入るなどと同じように家庭学習を生活のリズムの中に組み込んでいきましょう。そのためには毎日同じ時間に家庭学習を始めることが大切です。

### 【家庭学習をする場所を決める】

時間とともに毎日取り組む場所も決めましょう。そしてテレビ、PC、携帯の電源はOFF！机の上の勉強以外のものは整理しましょう。

### 【何を勉強するかを決める】

まずは宿題を終わらせる。それから自分に合った＋αの学習を行いましょう。復習を中心に進めていくと効果的です。

1年生…毎日 60分以上取り組む。  
2年生…毎日 90分以上取り組む。  
3年生…毎日120分以上取り組む。



※ これは最低限の目安です。もっとできる人、高い目標をもっている人はさらに頑張ってみましょう。土、日の時間がある時、テスト前などはさらに時間を増やしましょう。



## 【生徒用】

### ① 確認

- 小学校からの確認事項は定着していますか。
- 自分のカバンの中、机の上などは整理整頓されていますか。
- ながら学習は頭に入りません。机のまわりを整理し、集中して取り組みましょう。

### ② 最初に宿題・課題から 始めます

- 宿題、課題は優先的に取り組みます。まずは自分の力で解ける問題から始めます。
- わからない問題は、教科書、参考書などを利用して調べます。

### ③ 復習

- 今日の授業のノートを見直しましょう。
- 教科書と照らし合わせて、不足部分を補いノートに書き込みましょう。
- 同じ問題、または似たような問題をもう一度やってみましょう。

### ④ 予習

- 前の授業のノートを見て、内容を確認しましょう。
- 次の授業内容の教科書を何度も読みましょう。

### ⑤ 家庭学習を継続させるためのポイント

- 家庭学習をする時間を決めて、必ずその時間に学習する。
- 1週間の計画を立てて、計画に従って学習する。
- 「目標の高校に合格する」など目標をもって学習に取り組む。

### ⑥ 終わったら

- 忘れ物がないよう、明日の時間割を確認します。
- 家庭学習ノートは毎日提出します。



## 教科別家庭学習のアドバイス（中学校）

### 【国 語】

- 問題集を毎日やる。（苦手な人は2学年下から、得意な人は入試問題を）
- 教科書を読み直し、漢字の読みや語句の意味を確かめる。
- 「古文」は覚えるまで読む。
- 文法に関することは、大事な事柄を覚える。
- 文章に慣れるため、様々な文章に触れる。（新聞・本など）
- 小学校で習った漢字を書けるように、中学校で習った漢字を読み・書けるようにする。
- 慣用句・四字熟語などを調べ、短文を作成する。（実際に使用する）

### 【数 学】

- 毎日問題を解く。（①授業の宿題必ず解く→②家庭学習ノートにもう一度課題を解く→ワークの問題を解く→自分で購入した問題集を解く）
- その日の授業内容を振り返るため、教科書・ノート・プリントを見直す。
- 「できる内容」と「できない内容」を知り、できない内容を中心に学習する。
- 問題集は1ページやったら答え合わせをし、何をどのように間違えたか確認する。
- わからない場合は、先生・友達に聞いて理解する。
- まちがえた問題をもう一度解く。

### 【社 会】

- A：授業のノートを家庭学習ノートに写す。                      苦手な人⇒AとB
- B：習ったところの問題をワークで解く。                      得意な人⇒BとC
- C：問題集などを購入し、より多くの問題を解く。
- 教科書を読み、事実・出来事を整理する。
- 太文字の重要語句や人名を左側に書き、右側には説明を書きまとめる。

### 【理 科】

- ワークを繰り返し解く。
  - ①最初は何も見ないで取り組む。②必ず丸つけをしてできる、できないを把握する。
  - ③間違った問題、わからなかった問題はもう一度解く。
- 教科書・ノートを見ながら学習内容を確認する。
- 実験は記録をしっかり整理しておく。（実験の注意事項や操作の意味をきちんと確認しましょう。）

### 【英 語】

- ワークの問題を解く。
- 声に出して本文を読む。暗唱するまでくり返す。
- 英単語を読んで、意味が分かって、書けるようになるまで練習する。
- 教科書の基本本文を書く。覚えるまでくり返す。

# 家庭学習チェック

- 1 学習する場所の整理整頓せいりせいとんができているか。
- 2 テレビ、ゲーム、PC、携帯は消してから、学習しているか。
- 3 学習の始める時間を決め、学習時間を確保しているか。  
小1…10分以上 小2…20分以上 小3…30分以上  
小4…40分以上 小5…50分以上 小6…60分以上  
中学生…60分～120分以上
- 4 正しい姿勢しせいで学習しているか。
- 5 その日の目標もくひょうをたてて、学習に取り組んでいるか。
- 6 最初に宿題しゅくだいを終わらせているか。
- 7 基礎学習きそがくしゅう（読み・書き・計算けいさん）で学習の基礎きそとなる力をつけているか。
- 8 発展学習はってんにも挑戦ちょうせんしているか。
- 9 文字や図をていねいに書いているか。
- 10 次の日の時間割じかんわりを確認かくにんし、学習用具ようぐの準備じゅんびをしているか。

## しんだん 【診断のめやす】

8個以上 … しっかりとした家庭学習の取組とりぐみができています。

4～7個 … ある程度ていどの取組とりぐみはできていますが、あとひとふんばりです。

3個以下 … まずは机に向かう習慣しゅうかんを。教科書を読むことから始めよう。

清里町立清里 学校

氏名